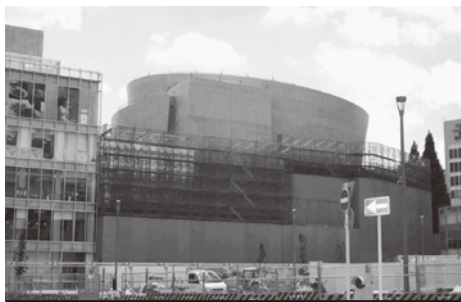


まだ間に合う

買ってはいけない！「駅前ホール」

※市民交流センターはまだ小金井市ものではありません



武蔵小金井駅南口の駅前広場に面して、灰色のシートに覆われた工事中の建造物が次第に姿を現しつつあります。これは「市民交流センター」、いわゆる「駅前ホール」ですが、建設しているのは小金井市ではありません。UR 都市機構が建設し、小金井市が買い取ろうとしている建物です。しかし、多くの市民への恩恵が期待できる施設とは言えず、買い取りをすれば市の将来に大きなツケを回すことになります。

▶ 使えない？駅前ホール

市長は、市民交流センターを「小金井公会堂の建て替え」として宣伝していますが、実際には旧公会堂の代替にはなりません。

旧公会堂は 888 席のホールがありましたが、市民交流センターの文化ホールは 578 席。小中学校の合唱コンクールや成人式には狭すぎて使えません。また、有名歌手を呼んだり、演劇の公演をしたりするには席数が少なく採算ラインに乗りません。一方で、市民の発表の場とするには使用料が高すぎます（文化ホール休日一日利用で 122,000 円）。事実上使えないものを市民の血税で買い取ろうとしているのです。

▶ 買い取り費用は75億円超

買い取りに必要な費用は表1の通りです。

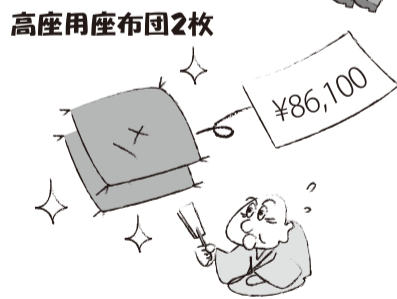
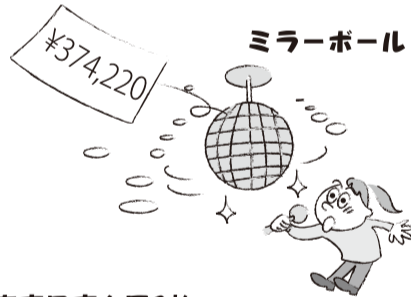
「付帯設備」は、舞台装置、音響装置、照明装置など、UR が調達し、小金井市にその費用を請求する物品です。UR は 344 項目に及ぶリストを示していますが、合計 2 億 4,000 万円のどんぶり勘定で、個々の価格の提示を拒否しています。これでは、UR が水増し請求をしていたとしても検証のしようがありません。

「備品」は小金井市が自分で調達するものですが、市民感覚とずれのある価格が多く見られます（イラスト参照）。

このように、買い取り費用は合計で75億円を優に超えることになります。

表1 市民交流センター買い取り費用

市民交流センター取得費	66 億 800 万円
付帯設備	2 億 4,000 万円
備品	1 億 1,000 万円
借入金利息	6 億 1,300 万円
合計	75 億 7,100 万円



▶ 駅前に建てるからこんなに損

表2は近隣市のホールの路線価（固定資産税の算出基礎となる、土地・建物が面する道路の平米単価）です。他市のホールと比較すると、市民交流センターの地価が飛びぬけて高いことが一目瞭然です。この地価が買い取り価格を跳ね上げています。

一方、最も地価の高い場所に公共施設を建てたのでは、固定資産税などの税収は上がらなくなります。

表2 近隣市の公共施設の路線価調べ

施設名	最寄り駅	路線価
小金井市民交流センター	武蔵小金井駅南口から徒歩1分	78万円
武蔵野市民文化会館	三鷹駅北口から徒歩13分	33万円
三鷹市芸術文化センター	三鷹駅南口から徒歩15分	35万円
府中の森芸術劇場	東府中駅北口から徒歩5分	35万円
小平市民文化会館（ルネ小平）	小平駅南口から徒歩3分	31万円

ご参加ください

「駅前ホール」問題を考えるつどい

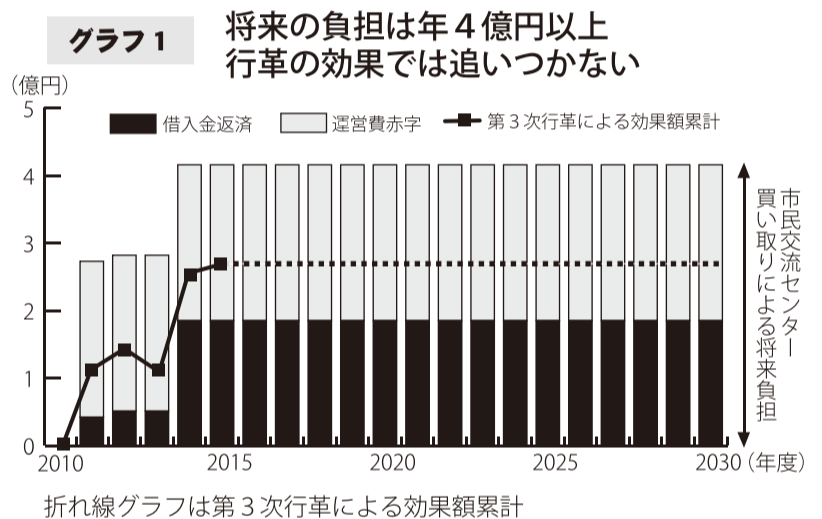
9/11(土)
14:00~16:00
萌え木ホール

主催：みどり・市民ネット

詳細は裏面をごらんください。

▶ 買い取りすれば、市民サービス低下を招く

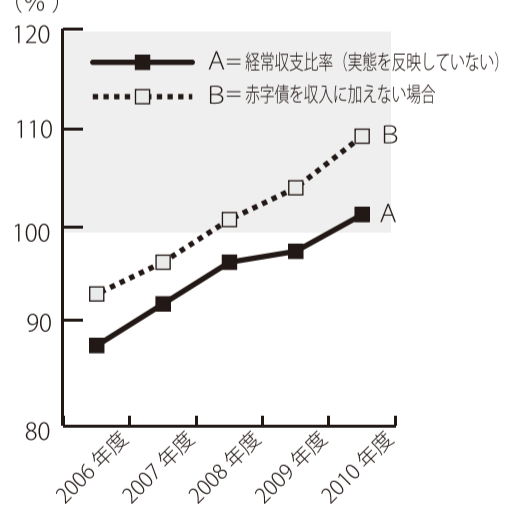
市は買い取り費用のうち 26 億 6,800 万円を借金する予定で、毎年 1 億 8,500 万円の返済が必要になります。また、市民交流センターの運営費は、年 2 億 3,100 万円の赤字になると試算されています。よって将来の負担は毎年 4 億円を超えることになります。



グラフ2の通り、小金井市の財政は年々急速に悪化しています。市は毎年の財源不足を「積立金の取り崩し」と「赤字債（借金）」で穴埋めしていますが、それも限界があります。先に決定した「第3次行革大綱」によると、市は行財政改革によって、2010年度～2015年度の間、累計2億7,700万円の削減をめざしています。その中には、集会施設の有料化や保育料の値上げなど、市民への負担増が含まれています。

市民交流センターを買い取れば、この事業ひとつで削減分を帳消しにするばかりでなく、2015年度以降なお1億4千万円が毎年不足する計算になります（グラフ1）。市民交流センターの買取りは、さらなる市民サービスの低下を招きかねません。

グラフ2 小金井市の経常収支比率の5年間の推移



▶ 買い取りしなくても賠償請求はされない

2003年に小金井市がURと結んだ「公益施設の取得に関する覚書」には、「(URと小金井市は)市民交流センターの工事着手前までに、財産取得に関する議会の議決を得た上で譲渡契約を締結するものとする」と書かれています。しかし、URは、議会の議決も待たず、譲渡契約の締結も行わないまま、工事に着工しました。覚書を無視してURが一方向的に工事を進めた建物である以上、市が買い取らなかったとしても損害賠償を請求されることはありません。（裏面へ続く）

市民の声で買い取りを中止に

国分寺市では、西国分寺駅東地区の再開発事業の中で文化ホールの建設を計画していましたが、反対の声が過半数を占めた市民アンケートの結果を受け、建設を中止しました。

一方小金井市では、市長が9月の定例市議会に、市民交流センターの「財産の取得に関する議案」を提案しようとしています。

今ならまだ間に合います。「駅前ホール」買い取り中止を求め、市長や議会に声を届けましょう。

環境面でも
問題が

1,200トン/年！CO2大量排出の温暖化促進施設？！

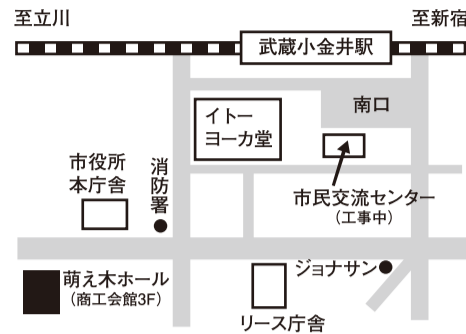
市民交流センターの電気・ガス使用量から換算したCO2排出予測量は1,200トン/年です。市の施設全体（体育館も全小中学校もすべて）の総排出量は2008年度実績で約5,000トン。市の地球温暖化対策実行計画では今年度までに4,597トンに減らすことになっているのに…。2009年度の国内のCO2排出量は観測史上最大。新しい施設だから…では許されません。

どなたでもご自由にご参加ください

「駅前ホール」問題を考えるつどい

9/11(土)
14:00~16:00
萌え木ホール

資料代：200円



報告

市議会議員

青木ひかる 片山かおる
漢人あきこ 田頭ゆう子
のみやま修吉 渡辺大三

主催：みどり・市民ネット

小金井市政の重要課題②

新庁舎建設へ 駅前庁舎 × リース庁舎契約更新 ×

新市庁舎建設問題は、建設基本構想をまとめていくために、現在市民検討委員会が持たれています。既に8回の検討を終え、来年1月に答申を出す予定です。

これまで市議会は、ジャノメ跡地を市庁舎用地として購入することを求める請願・陳情を全会一致で採択した経過があり、一方、市長は2000年に駅前庁舎案を提示しました。それ以外のケースも含めて、建設場所の絞り込みが一番の課題になっています。答申によっては、住民投票も視野に入れて決定していくこととなります。

また、小金井市ではリース庁舎の早期解消が大きな課題です。現在のリース庁舎は、これまで2度契約を更新し、2013年末の契約満了までに累計52億円を支払うことになる大きなムダづかいです。3度目の契約更新を回避できるスケジュールで新庁舎建設を計画する必要があります。

小金井市政の重要課題③

ごみ問題の解決への道筋 生ごみ分別→大減量！

現在、小金井の可燃ごみは、多摩地域の数市に分散して燃やしてもらっています。二枚橋衛生組合は3月末に解散し、三市での土地分割も決定しました。新ごみ処理施設は二枚橋跡地に建ると行政決定はしましたが、調布市、府中市との交渉はこれからです。

国分寺市と共同処理するとしても、処理方式に関する二市での検討は始まっていません。先行きは不透明なまま。

ひとつの希望は、ほとんど臭いも出ず、建設費も維持管理費も安く簡単に作ることができる、生ごみ消滅型の実証施設を作ろうという、市民からの陳情を3月に市議会が採択したこと。

可燃ごみの処理経費ダウンと、燃やさないごみ処理への第一歩を踏み出せるように、早期の設置をめざします。

青木ひかる 緑町在住 / 6期目

みどり・市民ネット幹事長 / 総務企画委員長
駅周辺整備調査特別委員 / 庁舎建設等調査特別委員

〈連絡先〉 緑町 2-5-53-B207 Tel/Fax 042-306-9503
hikaru-a@kxa.biglobe.ne.jp ブログ：「青木ひかる」で検索。



●小金井市の無計画市政をただし、リース庁舎のムダづかいを21年間追及してきました。「市民の党」に参加しています。業界団体、宗教団体、労働組合のヒモつきにならない、市民の政党をめざすグループです。

片山かおる 前原町在住 / 1期目

厚生文教委員 / ごみ処理施設建設等調査特別委員
行財政改革調査特別委員 / 議会報編集委員

〈連絡先〉 中町 3-10-10-103 Tel/Fax 042-316-1511
office@katayamakaoru.net HP: <http://katayamakaoru.net>



●《子どもの権利とおとなの人権》《民主主義を活かきること》《足もとからの平和》を大事にしながら、「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」や「市民自治こがねい」と共に活動しています。

漢人あきこ 緑町在住 / 4期目

建設環境委員 / 議会運営委員 / 駅周辺整備調査特別委員
庁舎建設等調査特別委員

〈連絡先〉 本町 2-19-36 Tel/Fax 042-316-1619
HP: <http://kando.cc>



●エコでピースでフェアな未来へ。だれかにおまかせではない「市民自治」と、暮らしと社会をデザインしなおす「スローライフ」で、子どもたちに責任をもてるまちづくりを小金井から。

田頭ゆう子 貫井北町在住 / 1期目

建設環境委員 / 議会運営委員 / 駅周辺調査特別委員
行財政改革調査特別委員

〈連絡先〉 中町 1-10-19-101 Tel/Fax 042-387-1068
koganett@f8.dion.ne.jp HP: 「田頭ゆう子」で検索



●田頭ゆう子と小金井・生活者ネットワークは、政治は暮らしを良くするための道具だと考えています。仲間と共に子どもの遊び場作りや、水辺の調査などを行い、市政をチェックできる市民を増やしたいと活動中です。

のみやま修吉 本町在住 / 5期目

市議会副議長 / 厚生文教委員 / ごみ処理施設建設等調査特別委員
行財政改革調査特別委員

〈連絡先〉 本町 1-10-3-303 Tel 383-1245 Fax 382-1120
nomiyaman@gmail.com ブログ「ノミの目」: <http://nomino.at.webry.info/>



●市民の党に所属。市民交流センター、ゴミ処理施設、リース庁舎の3大問題を解決し、ムダをなくして、安心して暮らせるまちにしていきたい。市政の転換が必要です。政治を動かしてきたのは市民の声と行動です。皆さんのお知恵とお力をお貸しください。

渡辺大三 貫井北町在住 / 5期目

総務企画委員 / 庁舎建設等調査特別副委員長
ごみ処理施設建設等調査特別委員

〈連絡先〉 貫井北町 1-12-1-502 Tel 090-3345-6929
HP: <http://www.daizou.org/> (EメールはHPから)



●「高額人件費」「駅前ハコモノ建設」などの無駄遣いを厳しくチェックしています。また、「e小金井市議会」というサイトで、市政情報を随時公開しています。毎月土曜の夜に市政報告会も開催しておりますので、ぜひご参加願います。

小金井市議会

2010.8月発行

「みどり・市民ネット」会派ニュース

連絡先▶ 小金井市本町 6-6-3 小金井市議会控室 Tel 042-383-1111 (内線 2819)

「みどり・市民ネット」は、「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機能として議会を活性化すること」「それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重すること」などを基本姿勢とする6人の議員の集まりです。